



◆ キミノミチ発見ラボを開催 ◆

過日（11月12日）、佐賀県の事業である「キミノミチ発見ラボ」が、3年生対象に開催されました。この事業は、理系人材育成事業の一環で行われており、進路選択を間近に控えた中学生に対して科学分野のスペシャリストからお話いただくものです。

当日は、佐賀県立宇宙科学館ゆめざんが館長の鈴木明子様から講義（50分）、質疑応答（20分）ご講演をいただきました。

鈴木館長は、JAXA（宇宙航空研究開発機構）広報部の参与も兼任されており、宇宙のしくみや宇宙開発などをお話いただきました。質疑応答の時間では、生徒たちが次々と質問を投げかけ、宇宙への興味関心が高いと感じました。この講演を受け、未来を切り拓く大人になってほしいと願います。



◆ 「虹の松原保全活動」について学習 ◆

過日（11月12日）、毎年実施している、小中連携事業「虹の松原ボランティア清掃活動」を前に、1年生を対象に、NPO法人 KANNE の皆様に虹の松原保全活動の実態についてお話をいただきました。

この講義を受けて、11月27日に浜玉中1年生と浜玉中校区の3小学校（浜崎小、玉島小、平原小）の小学6年生が合同で、松葉かき等の清掃活動を行うこととしています。



◆ 新入生学校説明会を開催 ◆

過日（11月13日）、令和8年度入学予定の新入生を対象に学校説明会を開催しました。

保護者の皆さんに事務手続きの説明している間、小学6年生の児童の皆さんは、新生徒会の引率で校舎及び授業見学を行いました。

その後、新生徒会が作成したスライドや動画を使って、小学校と中学校の違い、部活動の様子など丁寧に説明しました。

来春、夢と希望をもって本校に入学してくれることを心待ちにしています。



■ベネッセから、子どもたちの将来なりたい職業が発表された■中学、高校で「教員」が第1位！■なんと嬉しいことか■ベネッセは、子どもたちにとって最も身近な職業であることなどが影響していると分析■改善は進んでいるが、労働環境や処遇など教員を取り巻く状況は厳しい■その職業を選んできたことに感謝！（イタル）